

令和5年度

福岡都市圏広域行政事業組合

流域連携基金事業 実施レポート

地域振興
支援

環境対策
支援

広報
啓発

交流推進

森林保全
支援

福岡県うきは市つづら棚田

福岡都市圏の
水道水の約1/3は、
筑後川の水です。

コップ
3杯のうち1杯は
筑後川の水だよ



流域連携基金キャラクター
「ちっこりん」

ご挨拶

福岡市・筑紫地域・糟屋地域・宗像地域・糸島市を圏域とする福岡都市圏の17市町で設立した福岡都市圏広域行政事業組合は、圏域に共通する行政課題に対応するため、様々な事業を共同で実施しています。

現在260万を超える人々が暮らしている福岡都市圏は、大きな川がないなど地理的に水資源に恵まれず、私達の生活に欠かせない水道水の約3分の1を筑後川から取水しています。

圏域の安定的な水道水の供給は、ひとえに、筑後川流域及び水源地域の住民の皆様のご理解とご協力によって保たれています。

その筑後川流域及び水源地域では、ここ数年、毎年のように大雨による被害を受けており、昨年7月にも甚大な被害が発生している状況です。被害に遭われたすべての皆様に心からお見舞い申し上げますとともに、厳しい自然とも向き合いながら、筑後川の環境を大切に守り育てていただいていることへ感謝の気持ちを新たにしております。

当事業組合では、森林の保全や河川の清掃活動、水の学習等を通じて、福岡都市圏と筑後川流域及び水源地域の住民の皆様と交流・連携し、相互理解を深めることを目的に、「流域連携基金事業」を行っております。

福岡都市圏の住民の皆様には、これからも筑後川のめぐみへの感謝を忘れずに、水を大切に使用していただくとともに、次世代を担う子どもや若い世代が今以上に水環境に関心を持って、森や川を守り育てる活動にチャレンジしてほしいと思います。

福岡都市圏では、今後とも筑後川流域及び水源地域との交流・連携を積極的に進めてまいりますので、皆様方のご理解となお一層のご協力を賜りますようお願いいたします。

令和6年3月

福岡都市圏広域行政事業組合

管理者 高島 宗一郎



目次

交流推進事業

かっぱリング事業	2P
水の姉妹校形成促進事業	5P
あさくら体験学習支援事業	6P
筑後川のめぐみフェスティバル2023	6P

森林保全支援事業

水源林整備促進支援事業	8P
合所ダム水源の森を守る森林セラピー	8P
“梧ヶ鼻”水源の森づくり	9P
水郷ひたの森づくり	9P
200海里の森づくり植樹交流会	9P
大山ダム水源地域上下流交流事業	10P

地域振興支援事業

筑後川・川の駅スタンプラリー 2023	10P
---------------------	-----

環境対策支援事業

有明海クリーンアップ作戦	13P
筑後川河川美化「ノーポイ」運動	13P
環境対策支援補助金交付団体	14P

広報・啓発・その他

福岡都市圏「水」キャンペーン2023	15P
ありがとう筑後川シール	17P
災害見舞金	18P
流域連携基金審議会	18P
流域連携基金条例・施行規則	18P
流域連携基金イメージソング「筑後川にて」	裏表紙
令和5年度流域連携基金事業実施場所	裏表紙

太宰府ジュニアリーダーズクラブキャンプ （筑後川流域大川市における地域交流事業）

○開催日／令和5年10月14日（土）～15日（日）
○実施場所／大川市ふれあいの家（福岡県大川市）
○参加者／太宰府市40名、大川市25名 合計65名

太宰府市と大川市子どもたちが、筑後川沿岸での様々なレクリエーション活動を通して、大川市の地理や歴史、筑後川のめぐみについて学びながら、交流を深めました。

参加者の声

<太宰府市 Y・Mさん>

福岡県に水が足りないと言われていることは知っていたけれど、過去に何回か渇水による給水制限や給水車が発動されていたなんて知りませんでした。

私たちが日常的に飲んでいるお水のコップ3杯のうち1杯は筑後川の水ということなので、筑後川の水の恩恵に感謝してこれからも大切に使用したいと思います。

<大川市 K・Kさん>

太宰府市の中高生と大川の歴史ある街並みのフィールドワークをしたり、筑後川の水の学習をしたり、新しい体験や学習できてうれしかったです。特に水の学習では、大川市を流れている筑後川が、福岡市や太宰府市の飲料水になっていることを初めて知りました。筑後川がいろんな人の暮らしを支えていると知って、すごいなと思いました。



担当者の声

太宰府市上下水道課 岡村 真澄 さん

今回の合宿は、大川市小保・榎津地区でのフィールドビンゴや筑後川についての水の学習、モルック体験や筑後川河川敷での清掃活動など、盛りだくさんの内容でしたが、どの活動も中高生が小学生をリードしながら、一生懸命に取り組んでいる姿が印象的でした。

この合宿を通して、私たちが筑後川から多くの恵みを受けていることや、水の大切さを感じてくれたのではと思います。

今後も筑後川が繋いでくれた両市の交流が続いていくことを願っています。



「かっぱリング」とは？

福岡市を除く福岡都市圏の地域を4つの地域（筑紫地域、糟屋地域、宗像地域、糸島市）に分け、文化やスポーツ、水源地域での植樹などを通じて、筑後川流域と福岡都市圏の地域又は自治体単位で行う住民同士の交流事業（福岡都市圏筑後川流域交流推進事業）を「かっぱリング」と呼んでいます。

「かっぱリング」の由来

「かっぱ」で代表される筑後川と交流の輪（リング）を広げ、筑後川流域と福岡都市圏市町の「カップリング」（2つのものの組合せ）を進めるという意味を込めて「かっぱリング」と名付けました。



かっぱリング事業（糟屋地区）

第26回糟屋地区中学生地域交流サッカー新人大会(26th Liga de Animo)

○開催日／令和5年8月26日（土）・27日（日）

○実施場所／粕屋地区8会場（メイン会場：古賀市立古賀中学校）

○参加者／48チーム 約600名（糟屋地区16チーム、筑後川流域、その他地区32チーム）

福岡都市圏の糟屋地区では、筑後川流域の子どもたちとの交流のため、糟屋地区8会場において中学生の交流サッカー大会を実施しています。今年度はコロナ禍後初の制限のない開催で、多くの筑後川流域中学校を招いて実施することができました。中学生サッカーチームが「水」を通じた「かっぱリング事業」で交流を深め、青少年の技術向上と健全な心身の育成を図ることができました。

参加者の声

<古賀市立古賀中学校 Oさん>

今回の大会で感じたことは三つあります。一つ目はプレーについてです。パスもコーナーキックも今までよりも一番良くできました。二つ目は他のチームとの交流です。最後の片付けの時まで、他のチームと協力して行うことができました。三つ目は水の大切さについて学んだことです。自分達が普段飲んでいる水道水の3分の1が筑後川の水だということに驚きました。これからも水を無駄遣いせずに行きたいです。

<大刀洗町立大刀洗中学校 Tさん>

僕はかっぱリングを経験して二つのことを感じました。一つ目は、水の大切さです。サッカーをしているときに水分補給や頭を冷やしたりすることで水を使います。水がないとこれらができなくなってしまうので、水を大切に使い、これからも十分に水が使えるようにしていきたいと思いました。二つ目は試合についてです。僕たちのチームは練習試合であまり勝てないのですが、練習の成果を発揮し、二勝することができました。チームにとって「勝利」は大きな一歩となり、嬉しい経験ができました。かっぱリングを通して、たくさんのことを学ぶことができました。ここで学んだことをこれからも活かしていきたいと思います。

担当者の声

古賀市上下水道課 大砂 優子さん

糟屋地区では、毎年筑後川流域の中学生サッカーチームを招き、地域交流サッカー大会を行っています。今年度はコロナ禍後初の制限のない開催で、多くの筑後川流域中学校を招いて実施することができました。大会2日間にわたり気持ちのいい晴天に恵まれ、子どもたちの一生懸命なプレーや試合後お互いをたたえ合う姿に、会場は大いに盛り上がりました。開会式では、私たち福岡都市圏で日頃使っている水道水の約3分の1が筑後川からの水であることを説明し、子どもたちと水の大切さや筑後川への感謝の気持ちを共有することができました。また、日頃交流が少ない筑後川流域と糟屋地区の子どもたちが、「水」を通じて繋がり、このような交流ができたことはとても有意義なものでした。

最後に、この大会の開催に際して、参加者の皆さま、ご協力いただいた皆さまに、心より感謝申し上げます。



かっぱリング事業（宗像地区）

宗像地区・大山町子ども交流事業～かっぱリング2023～

○実施日／令和5年9月9日（土）

○実施場所／津屋崎千軒なごみ（福岡県福津市）

○参加者／宗像地区8名、日田市大山町12名、合計20名

水源地である日田市大山町の「大山公民館チャレンジ教室」の子どもたちと宗像地域の子供たちとの交流を行いました。福津市にある津屋崎千軒なごみにて、午前中は、福岡都市圏と筑後川の水事情や海洋ごみについて学習した後、海岸で拾った貝殻を使用したキーホルダー作りに挑戦しました。午後は、廃プラスチックブロックを使った作品作りに挑戦しました。事業を通して、水道に対する理解を深め水の大切さを学びました。貝殻や廃プラスチックを使用した作品作りを行うことで、水に関する環境問題について理解を深めました。

参加者の声

<宗像地区 F・Mさん>

水には制限があって、普段飲んでいるけどもっと大切にしたいと思った。川だけの繋がりがだった私たちが、川・水でこんなにも関係を広げることができてよかった。

<大山地区 Y・Tさん>

大山町と宗像地区が大山川で繋がっていると知らなかった。キーホルダーを作ってみて失敗するかもと思ったけど成功したのでよかった。

担当者の声

日田市大山公民館
館長 黒川 清人さん

コロナの影響で4年ぶりに開催し、子どもたちの反応はどうかと思っていましたが、楽しんで話をしていました。大山町の場合、1学年の人数が20人不足です。宗像地区は1学年5クラスあり、30数名とのことであまりの違いにお互い驚いていました。海洋ゴミについての学習の中で、海洋ゴミの8割は陸からくるものといわれたことも刺激的だったようでみんなが覚えていました。オンリーワンのキーホルダー作り、六角ブロック作品づくり、どちらも子どもたちには創造性をかき立てる楽しい時間だったようです。かっぱリング事業に参加して、大山の子供たちは刺激的でよい学びになったと思います。



かっぱリング事業 (糸島市)

糸島市・日田市上津江町 森林保護交流会

- 実施日/第1回 令和5年6月23日(金) / 第2回 9月22日(金)
- 実施場所/上津江フィッシングパーク(大分県日田市上津江町)
- 参加者/第1回 上津江町6名、糸島市6名、関係職員2名 計14名
第2回 上津江町6名、糸島市4名、関係職員1名 計11名



かっぱリング事業 (糸島市)

第24回糸島市・日田市上津江町「もり」の交流会

- 実施日/令和5年7月22日(土) ○実施場所/上津江フィッシングパーク(大分県日田市上津江町)
- 参加者/糸島市40名、日田市上津江町10名、スタッフ22名 計72名

令和5年7月22日(土)に第24回糸島市・日田市上津江町「もり」の交流会を4年ぶりに開催することができました。今年は、糸島市と日田市上津江町の子どもたちが、大分県日田市上津江町の上津江フィッシングパークにて、溪流釣りや自然体験、昼食などを通して交流しました。

参加者の声

<糸島市 N・Yさん(スタッフとして参加)>
かっぱリング事業を通して、筑後川の水源である上津江町の美しい山や川、元気の良い子どもたちとふれあうことができました。上津江町の方々へ美味しいカレーをご馳走していただき、私はもちろん糸島市から来た子どもたちもとても喜んでいました。今後は水源を守る方々への感謝の気持ちを忘れず、水と関わっていこうと思います。

<日田市上津江町 K・Sさん(スタッフとして参加)>
今年度は、前日の天気予報では少々不安ありましたが、好天の下、予定通り「森の交流会」が開催でき大変良かったです。参加頂いた皆さんには、水がどういう環境で生み出されるか五感を使って知ることができたのではないのでしょうか。来年もこのような事業を通して、福岡都市圏の方々と水資源の大事さの相互理解を深めていければと思います。皆さんお疲れさまでした。

担当者の声

糸島市上下水道部水道課 大賀 功二さん

日田市・糸島市の子どもたちとともに日田市上津江町で植樹を行って以降、毎年交流会を開催し、今年も無事に実施することができました。4年ぶりに「もり」の交流会も開催することができ、糸島市児童と上津江町児童が自然交流を通して学ぶことを体験することができ、良かったです。交流を通して得たものを、今後の学習の一つに役立てていただくと幸いです。今回の事業を通して、上津江と糸島のつながりを断ち切ることなく地域間交流を図ることができ、有意義なものとなったと思います。参加者の皆さま、ご協力いただいた皆さまに心から感謝申し上げます。



水の姉妹校形成促進事業

「水」でつながっている福岡都市圏の小学校と筑後川流域の小学校が、一緒に「水」に関する学習・交流を行いながら「水の大切さ」や「森を守り育てることの大切さ」を学び、福岡都市圏と筑後川流域の将来にわたる「相互理解」の促進につなげています。

福岡市立北崎小学校 — 朝倉市立秋月小学校

- 実施日／令和5年7月27日(木)、11月29日(水)
- 実施場所／福岡市立北崎小学校 他(福岡市西区)、朝倉市立秋月小学校、小石原川ダム 他(朝倉市)
- 参加生徒数／北崎小 4年生16名、5年生16名、6年生17名 合計49名
秋月小 4年生14名、5年生16名、6年生20名 合計50名

7月27日、両校の5年生は、北崎小学校及び周辺で交流し、魚釣り体験やスキューバ体験などを行い、海の文化を中心に親睦を深めることができました。

7月27日、両校の6年生は、秋月小学校及びその周辺で手すき和紙の作成など山里の水の文化を通じて交流し、親睦を深めました。

11月29日、両校の4年生は、小石原川ダム見学や、小石原焼の体験学習などを通じて親睦を深めることができました。



福岡市立能古小学校 — 日田市立大山小学校

- 実施日／①令和5年7月14日(金)、②10月4日(水)
- 実施場所／①福岡市立能古小学校(福岡市西区能古島) 他 ②日田市立大山小学校(日田市大山町)、松原ダム(〃)
- 参加生徒数／能古小 4年生21名、大山小 4年生8名

7月14日、大山小学校の児童が能古小学校を訪れ、筑後川と福岡市の水道の関わりについて一緒に勉強した後、海遊びや能古島の食材を使ったお弁当を食べるなどして交流を深めました。



10月4日、能古小学校の児童が大山小学校を訪れ、姉妹校児童との3カ月ぶりの再会をしました。現地では、松原ダム見学、ダム湖の遊覧船体験をしました。その後、大山地区の食材をふんだんに使った食事をいただくなど、充実した一日になりました。



あさくら体験学習支援事業

福岡都市圏の中学校が、筑後川流域・水源地域の朝倉地域（朝倉市・筑前町・東峰村）で各種体験活動を実施する際の経費の一部を助成することで、福岡都市圏の水道水の約3分の1を担う筑後川流域への理解促進と感謝の気持ちの醸成につなげています。

古賀市立古賀中学校

- 実施日／令和5年9月6日（水）～7日（木）
- 実施場所／福岡県朝倉市・筑前町・大刀洗町・柳川市、熊本県荒尾市 他
- 参加生徒数／237名

古賀市立古賀中学校の2年生が、修学旅行として朝倉地域、筑後地域を訪れ、平和学習や、朝倉市の山田堰の見学、地元の家業体験などを行いました。

修学旅行参加にあたり、筑後川の水の恩恵や、山田堰の役割などの事前学習を行いました。

プログラムの最後には、三井グリーンランドでの自由時間があり、楽しい充実した修学旅行となりました。



宗像市立玄海中学校

- 実施日／令和5年8月30日（水）～9月1日（金）
- 実施場所／福岡県朝倉市・筑前町 他
- 参加生徒数／35名

宗像市立玄海中学校の1年生が、自然教室として2泊3日で朝倉市、筑前町を訪れ、草スキー体験、天体観測などの様々な自然体験や、農業体験を行いました。自然教室の事前学習として、朝倉市に関する事前学習を行いました。

筑後川の豊かな水で育まれた朝倉地域の自然や文化を大満喫できる自然教室となりました。



筑後川のめぐみフェスティバル2023

- 実施日／令和5年10月14日（土）・15日（日）
- 実施場所／福岡市役所西側ふれあい広場
- 来場者数／11,172人（2日間合計）

福岡都市圏で使用される水道水の約3分の1を筑後川に頼っていることを福岡都市圏住民に周知し、筑後川のめぐみへの「感謝」の気持ちを醸成するとともに、筑後川流域市町村との相互理解を推進するため、フェスティバルを開催しました。

本フェスティバルでは、筑後川流域市町村の特産品販売や、伝統芸能を披露するステージイベントなどを行い、多くの来場客でにぎわいました。



1. オープニング

筑後川流域のご当地キャラクターや観光大使、流域連携基金イメージキャラクター「ちっこりん」が、フェスティバル開会を祝してくす玉割りを行いました。

オープニングとあわせて、福岡地区水道企業団設立50周年記念式典が執り行われました。



2. 筑後川流域交流物産展

筑後川流域市町村からは16市町村55事業者が出店しました。筑後川流域及び水源地域の魅力あふれる特産品が並び、来場客で賑わいました。



3. 水の啓発コーナー

「水の啓発コーナー」では、①水道水、②ミネラルウォーター、③海水淡水化水を飲んで当てる「利き水コーナー」や、ダム模型の展示コーナー、筑後川本格改修100周年事業展示などが出展し、普段気なく使っている「水」のありがたさや、治水・利水に関する取り組みなどの広報啓発が行われました。



4. 観光 PR ステージ・物産品抽選会

筑後川流域市町村のうち、15市町村がステージ上で観光PRを行い、場内で物産品を購入した来場者に賞品があたる抽選会を行いました。



5. ステージパフォーマンス

筑後川流域市町村の迫力ある和太鼓演舞や、加藤淳也さんが歌う流域連携基金テーマソング「筑後川にて」、地元出身アーティストの他、久留米絃のPRを行う「絃藍ドル あいくる」のステージ・ファッションショーなど、さらにイベントを盛り上げるステージパフォーマンスが行われました。



交流推進事業

森林保全支援事業

水源林整備促進支援事業

○実施場所／大分県日田市・福岡県うきは市
都市圏の水源ダムである大山ダム（日田市）、合所ダム（うきは市）集水区域内の水源林保全のため、日田市、うきは市と共同で間伐等を行いました。

【事業実績】

・うきは市	下刈	54.4ha
・日田市	間伐・再造林等 路網整備	20.66ha 2,260m



合所ダム（うきは市）



大山ダム（日田市）

合所ダム水源の森を守る森林セラピー

○主催／合所ダム水源の森を守る森林セラピー実行委員会

○実施日／令和5年8月26日（土）

○実施場所／福岡県うきは市：つづら棚田森林セラピーロード、ひめはるビジターセンター 他

○参加者数／27名（公募の上、応募者248名の中から抽選にて当選した参加者）

都市圏の水源ダム「合所ダム」があるうきは市において、都市圏住民に、筑後川の恩恵や水源地の自然環境を守る大切さを学んでもらい、水源地である「うきは市」の豊かな魅力を感じていただくことを目的に、「合所ダム水源の森を守る森林セラピー」を実施しました。

本事業では、合所ダム水源地にあり、日本棚田百景に選ばれた「つづら棚田」をめぐる森林セラピー体験、水源林の保全活動（ウッドチップ敷き）を行いました。



“椿ヶ鼻”水源の森づくり

都市圏の水源ダム「大山ダム」がある日田市にて、福岡都市圏の高校生と日田市の高校生が、「大山ダム」の見学やダム水源林の保全活動の一環として、枝打ち作業を行いました。

参加した学生たちは、枝打ち作業後、各種林業体験や昼食のバーベキューなどを通して、親睦を深めました。

○主催／“椿ヶ鼻”水源の森づくり実行委員会

○実施日／令和5年9月23日（土） ○実施場所／大分県日田市：前津江町（枝打ち体験）・大山町（大山ダム見学）

○参加者数／福岡都市圏（高校生）34名、日田市（高校生）14名 合計48名 ※引率教諭含む



水郷ひたの森づくり

日田市主催「市民参加の森づくり」に福岡都市圏住民が参加し、地元の方々と一緒に筑後川への感謝を込めて、「ヤマモミジ」「ヤマザクラ」などの苗木630本を植樹しました。

植樹後、天領時代の古い町並みが残る豆田町を散策しました。

○主催／日田市

○実施日／令和5年11月11日（土） ○実施場所／大分県日田市：萩尾公園（植樹会場）、豆田町（散策）

○参加者数／60名（公募の上、応募者167名の中から抽選にて当選した参加者）



200海里の森づくり 植樹交流会

日田市中津江村にて行われた「200海里の森づくり植樹交流会」に、福岡都市圏から那珂川市、須恵町の住民が参加しました。参加者は、筑後川に注ぐ水を育む水源林を守り育てるため、地元の方々と一緒に、サクラ・モミジの苗木を植樹し、森を守り育てることの大切さを学ぶことができました。植樹後、同じく中津江村にあり、かつて東洋一の金山といわれた「鯛生金山」を見学・散策しました。

○主催／200海里の森づくり実行委員会

○実施日／令和5年11月18日（土）

○実施場所／大分県日田市中津江村：鯛生スポーツセンター（植樹会場）、鯛生金山（散策）

○参加者数／那珂川市23名、須恵町25名 合計48名



大山ダム水源地域上下流交流事業 シイタケ駒打ち体験交流会

福岡都市圏の水源地ダム「大山ダム」がある日田市大山町にて行われた「大山ダム水源地域上下流交流事業 シイタケ駒打ち体験交流会」に、福岡都市圏から福津市の住民が参加しました。

参加者は、ダムの見学後、田来原美しい森づくり公園にて、地元住民と一緒に水源地林保全で生じた間伐木材を活用したシイタケ駒打ちを体験しました。体験後、毎年開催される「日田おおやま梅まつり」会場を訪れ、咲き乱れる梅の香りを感じながら、春の訪れを満喫しました。

○主催／大山ダム水源地域上下流交流事業 実行委員会

○実施日／令和6年2月24日（土） ○実施場所／大分県日田市大山町：大山ダム、田来原美しい森づくり公園 他

○参加者数／福津市からの参加者22名



森林保全支援事業

地域振興支援事業

筑後川・川の駅スタンプラリー2023

○実施期間／令和5年7月19日（水）～11月24日（金）

○実施場所／筑後川流域に点在する「川の駅^(※)」（福岡県・大分県・熊本県）

※川の近くにあるか川の活動に関係した施設で、来訪者にトイレや休憩場所、地域の情報を提供し、人と人の出会いを促進する空間。

福岡都市圏で使用される水道水の約3分の1を担う筑後川流域への理解を促進し、感謝の気持ちを醸成するとともに、その魅力を伝えることを目的に、家族単位で筑後川流域に足を運びきっかけとして「筑後川・川の駅スタンプラリー」を実施しました。

今年度は、国土交通省九州地方整備局筑後川河川事務所が実施する「筑後川本格改修100周年事業」と連携し、応募資格を福岡都市圏在住者に限定せずに実施しました。

(1) 事業概要

筑後川流域に45カ所ある川の駅に設置されているスタンプを5個以上^(※)集め、応募した方の中から抽選で150名に「筑後川ブランド大会」に出品された賞品を贈呈。

※スタンプ5個につき1口とし、1人当たり最大3口（スタンプ15個分）まで応募可能。

(2) 当選賞品



※スタンプラリー用紙抜粋

(4)実施結果

①男女別・年齢別応募状況

【男女別】

	人数	口数	箇所数
男性	638	1,191	6,123
女性	889	1,674	8,648
未記入			
合計	1,527	2,865	14,771

【年齢別】

	人数	口数	箇所数
～6歳	107	171	906
～12歳	227	387	2,027
～15歳	34	57	292
～18歳	10	24	125
～30歳	100	204	1,036
～50歳	423	798	4,112
51歳～	612	1,201	6,158
未記入	14	23	115
合計	1,527	2,865	14,771

②住所別応募状況

【全体】

地域	人数	口数	箇所数
福岡都市圏	658	1,225	6,397
筑後川流域25市町村	512	973	4,985
その他市区町村	357	667	3,389
合計	1,527	2,865	14,771

【都市圏内訳】

市町	人数	口数	箇所数
福岡市	273	548	2,851
筑紫野市	71	130	669
春日市	49	95	492
大野城市	67	107	570
太宰府市	53	101	536
那珂川市	31	47	243
古賀市	13	22	116
宇美町	17	37	195
篠栗町	9	25	125
志免町	18	25	141
須恵町	10	11	55
新宮町	0	0	0
久山町	0	0	0
粕屋町	11	21	114
宗像市	14	21	107
福津市	8	14	73
糸島市	14	21	110
合計	658	1,225	6,397

【流域市町村内訳】

県	市町村	人数	口数	箇所数	県	市町村	人数	口数	箇所数		
福岡県	朝倉市	38	71	366	佐賀県	佐賀市	41	81	420		
	久留米市	131	268	1,356		鳥栖市	27	58	312		
	柳川市	13	22	111		神埼市	6	9	47		
	八女市	25	43	214		吉野ヶ里町	13	31	160		
	筑後市	36	57	296		基山町	11	15	79		
	大川市	5	9	48		上峰町	6	15	78		
	小郡市	18	43	224		みやき町	5	5	26		
	うきは市	20	41	206		南小国町	0	0	0		
	筑前町	23	40	204		小国町	3	9	45		
	東峰村	0	0	0		熊本県	日田市	49	77	392	
	大刀洗町	3	3	15			九重町	0	0	0	
	大木町	6	8	41			大分県	玖珠町	12	34	171
	広川町	21	34	174				合計	512	973	4,985

③川の駅・所在市町村ごとの人数

No.	川の駅	市町村	人数	No.	川の駅	市町村	人数	所在市町村	人数
1	長者原ビジターセンター	九重	156	24	あまぎ水の文化村	朝倉	234	九重	651
2	九重夢大吊橋物産直売所	九重	195	25	観光プラザほとめく館	朝倉	364	玖珠	773
3	九重ふるさと館	九重	300	26	道の駅筑前みなみの里	筑前	574	日田	1,525
4	道の駅 童話の里くす	玖珠	359	27	観光会館土蔵	うきは	385	南小国	444
5	道の駅 慈恩の滝くす	玖珠	414	28	にしの耳納の里	うきは	663	小国	636
6	天の国プラザ	日田	257	29	ほめ家	うきは	144	東峰	408
7	夫婦滝・滝のお土産屋さん	南小国	154	30	筑後川の駅しばかり	久留米	358	うきは	2,009
8	南小国町 きよらかアサ	南小国	290	31	御宿なかむら	久留米	128	朝倉	2,450
9	道の駅小国ゆうステーション	小国	409	32	八百屋カフェ農と音(2号店)	久留米	157	筑前	574
10	小国サビスタリア風車	小国	227	33	道の駅くるめ	久留米	743	久留米	2,260
11	しもうけ館	日田	105	34	くるめウス	久留米	534	鳥栖	107
12	まつばら館	日田	119	35	ブーゲンの森	久留米	340	大川	729
13	おすそわけレストラン松原	日田	127	36	とりごえ温泉 栖の宿	鳥栖	107	佐賀	483
14	水辺の郷おおやま	日田	382	37	大川市立清力美術館	大川	171	大木	515
15	薫重酒蔵資料館	日田	235	38	料亭・旅館 三川屋	大川	172	柳川	595
16	亀山亭ホテル	日田	155	39	大川テラツツァ	大川	386	筑後	478
17	山乃そば茶屋	日田	20	40	橋の駅ドロンパ	佐賀	483	八女	130
18	道の駅鯛生金山	日田	125	41	道の駅おおき	大木	515	不明	4
19	ふれあい広場つづみの里	東峰	122	42	大東エンタープライズ	柳川	222	合計	14,771
20	道の駅小石原	東峰	286	43	柳川よかもん館	柳川	373		
21	道の駅うきは	うきは	817	44	川の駅船小屋恋ぼたる	筑後	478		
22	道の駅原鶴ファームステーションパロ	朝倉	923	45	ハ女人形会館	八女	130		
23	三連水車の里あさくら	朝倉	929		不明		4		
					合計		14,771		

有明海クリーンアップ作戦

有明海を美しい海に戻そうと、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県の有明沿岸四県がひとつになって実施している「有明海クリーンアップ作戦」に、福岡都市圏市町等の職員が参加し、筑後川下流域の柳川市久間田漁港で地元の漁協関係者や、国、県、市の関係団体の方々と一緒に早朝から清掃活動を行いました。

- 実施日／令和5年8月17日（木）
- 場 所／福岡県柳川市 久間田漁港
- 参加者／福岡都市圏市町等の職員 26名



筑後川河川美化「ノーポイ」運動

河川美化、愛護運動の一環として、筑後川流域自治体と国土交通省が一体となって推進している筑後川河川美化「ノーポイ」運動に、福岡都市圏市町等の職員が参加し、久留米市の筑後川河川敷にて早朝から清掃活動を行いました。

- 実施日／令和5年10月22日（日）
- 場 所／福岡県久留米市 筑後川河川敷
- 参加者／福岡都市圏市町等の職員 28名



環境対策支援補助金交付団体

筑後川流域（有明海を含む）において、環境保全活動を行う非営利活動団体（15団体）に対して、環境支援対策補助金として、活動費の助成を行いました。

地域	協議自治体等	補助金交付団体	活動名・内容	
福岡都市圏	福岡都市圏市町	福岡市水源林ボランティアの会	筑後川上流域の水源林保全活動と水源林地域住民との交流活動	
		特定非営利活動法人 はかた夢松原の会	学生を対象に行う体験学習活動「水の重要性」をテーマとした都市圏・筑後川流域の住民交流イベント・研修の実施	
		環境探究学研究会 長濱研究室	持続的自然資源利用と管理のための研究と教育実践（環境教育） …学生向けの環境教育活動、筑後川流域でのフィールドワーク等	
筑後川流域	筑後川河川事務所	筑後川まるごと博物館運営委員会	高良川子ども自然と環境体験活動講座（全5回）	
		エコアクト筑後川	筑後川エコアクトプログラム2023「森と川とくらしのつながり」 …河川での自然体験活動、森林保全・環境保全の意識向上のための学習会	
		特定非営利活動法人 筑後川流域連携倶楽部	水源地区久留米高良山地区環境保全活動 …筑後川水源林の保全活動（竹林整備など）	
		里山保全の会 東峰フラワーズ	間伐材を使用した木工製品の製作（木工体験用）と体験会	
有明海	佐賀県	特定非営利活動法人 有明海ぐるりんネット	有明海と森の栄養塩の「循環」を学習し、活動する …有明海の牡蠣礁復活竹切り作業・竹立て作業、森・川・海の「循環」を学ぶ交流会	
水源地域	寺内ダム・江川ダム	朝倉市	安川地区 小石原川を美しくする会	小石原川及び野鳥川の除草・清掃活動
			甘木町「小石原川を守る会」	小石原川の高水敷の芝刈り・除草活動
			堀川の環境を守る会	第16回堀川クリーンアップ活動 …堀川周辺草刈及び清掃活動
			下戸河内ダム対策協議会	水をつなぐ流域交流会 in 下戸河内 …筑後川上下流住民による植樹活動など
	合所ダム	うきは市	うきは市林業研究グループ	うきはの森と親しむ日 …植林・木工・シイタケ菌打ち体験など
			つづら棚田を守る会	棚田の保全活動 …合所ダム上流の棚田での田植えや収穫祭（お月見）などの交流活動
			うきは市癒しの旅先案内人協会	森林セラピーロードを活用した森林環境教育活動と森林保全活動

活動の様子



里山保全の会 東峰フラワーズ



堀川の環境を守る会



下戸河内ダム対策協議会



特定非営利活動法人 有明海ぐるりんネット

福岡都市圏「水」キャンペーン2023

福岡都市圏では、毎年、国が定める水の週間（8月1日からの1週間）において、都市圏住民を対象に、都市圏の水事情の周知や筑後川の水のめぐみへの感謝等を啓発するため、筑後川のめぐみや水の大切さなどに関する啓発キャンペーンを行っており、今年度はJR博多駅前広場でのオープニングセレモニーのほか、都市圏各市町の街頭や庁舎内にてキャンペーンを実施しました。

- ①期間 令和5年8月1日（火）～7日（月）
- ②場所 福岡都市圏内の駅施設、公共施設、商業施設等
- ③実施の様子

(1) 街頭キャンペーン等

福岡市

(街頭キャンペーン：JR博多駅前広場)



筑紫野市・山神水道企業団

(街頭キャンペーン：JR二日市駅西口)



春日市・春日那珂川水道企業団

(街頭キャンペーン：西鉄春日原駅、JR春日駅)



大野城市

(街頭キャンペーン：大野城イオン)



太宰府市

(街頭キャンペーン：ルミエール太宰府店)



那珂川市・春日那珂川水道企業団

(街頭キャンペーン：博多南駅前ビル)



古賀市

(街頭キャンペーン：JR古賀駅)



宇美町

(庁舎・関係施設窓口にて実施)



篠栗町

(庁舎・関係施設窓口にて実施)



志免町

(街頭キャンペーン：ザ・ビッグ福岡空港東店)



須恵町

(街頭キャンペーン：トレードマート須恵店)



広報・啓発・その他

新宮町
(庁舎・関係施設窓口にて実施)



久山町
(街頭キャンペーン：トリアス久山)



粕屋町
(街頭キャンペーン：ミスターマックス粕屋店)



宗像市
(街頭キャンペーン：JR 赤間駅)



福津市
(街頭キャンペーン：JR 福間駅)



糸島市
(街頭キャンペーン：JR 筑前原原駅)



(2) デジタルサイネージ

- ①放映期間 令和5年8月1日(火)～31日(木)
- ②放映場所 福岡都市圏内公共施設デジタルサイネージ
JR博多駅筑紫口駅前広場サイネージ
- ③デジタルサイネージデザイン(静止画と動画を作成)
※サイズ・規格にあわせて8パターン作成



デザイン (横)



デザイン (縦)

④放映の様子(例)



JR 博多駅筑紫口駅前広場サイネージ



古賀市役所デジタルサイネージ

(3) チラシデザイン



(表面)



(裏面)

(4) その他広報

- ①福岡都市圏17市町公共施設におけるポスター掲示・チラシ設置
- ②福岡都市圏17市町の広報誌・ホームページ・SNSへの記事掲載
- ③RKB毎日放送「タダイマ!」における広報
※8月1日放送分、番組内特集
- ④インフルエンサー（インスタグラマー）による情報発信 他

ありがとう筑後川シール

福岡都市圏における「筑後川のめぐみ」を広く啓発するため、都市圏の鉄道駅（JR九州・西鉄）のトイレ手洗い場に啓発シールを貼付しました。
※福岡都市圏内の公共施設、公立学校、福岡市営地下鉄トイレには、令和4年度に貼付済み。

(1) シールデザイン



(2) 貼付箇所数・枚数

- ①駅数 84 駅
- ②箇所数

男性トイレ	157箇所
女性トイレ	162箇所
多目的トイレ	92箇所
合計411箇所	

(3) 貼付の様子(例)



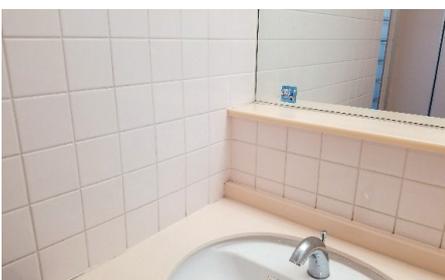
JR 博多駅



西鉄筑紫駅



JR 長者原駅



JR 福岡駅



JR 筑前前原駅



西鉄大橋駅

災害見舞金

「福岡都市圏流域連携基金による災害見舞金支給要綱」に基づき、令和5年7月梅雨前線豪雨等で大きな被害を受け、災害救助法の適用及び激甚災害の指定を受けた筑後川水源地域及び流域の市町村に対して、同年9月に災害見舞金をお渡ししました。

【災害見舞金をお渡した筑後川流域の市町村】

[福岡県]久留米市、朝倉市、八女市、筑後市、うきは市、筑前町、東峰村、広川町 [佐賀県]佐賀市 [大分県]日田市

流域連携基金審議会

基金で実施する事項に関し、透明性及び公平性を図るために審議会を設置しています。

令和5年度審議会開催状況

第1回	書面開催	議題	令和5年度 環境対策支援補助金について
		報告	令和4年度 水源林整備促進支援事業の実施状況について
第2回	令和5年12月27日	その他	令和4年度 流域連携基金事業の実施状況について 令和5年度第1回流域連携基金運営委員会の実施状況について
		報告 議題	令和5年度 流域連携基金事業の実施状況について 令和6年度 流域連携基金事業(案)について

審議会委員

区分	氏名	所属・役職	任期
会長	山下 三平	九州産業大学 建築都市工学部 教授	令和4年12月1日から 令和6年11月30日まで
副会長	平 由以子	特定非営利活動法人 循環生活研究所 理事	
委員	近藤 春生	西南学院大学経済学部 教授	
委員	水野 秀明	九州大学大学院 農学研究院 准教授	
委員	中村 昌子	株式会社 西日本新聞社 営業本部 ビジネス開発部長	

福岡都市圏広域行政事業組合流域連携基金条例

平成16年11月8日 条例第3号

- (設置) 第1条 福岡都市圏共通の水源地域及び流域に対して、交流推進事業や森林保全、環境対策、地域振興等の支援事業を行って連携を図るとともに、もって相互理解を深めるため、福岡都市圏広域行政事業組合流域連携基金(以下「基金」という。)を設置する。
- (積立て) 第2条 基金として積み立てる額は、歳出予算をもって定める額とする。
- (管理) 第3条 基金に属する現金は、地方自治法(昭和22年法律第67号)第241条第7項の規定により保管するほか、必要に応じ、最も確実かつ有利な有価証券に代えることができる。
- (運用益金の処理)
- 第4条 基金の運用から生じる収益は、福岡都市圏広域行政事業組合流域連携事業特別会計歳入歳出予算に計上し、福岡都市圏共通の水源地域及び流域に対して、交流推進事業や森林保全、環境対策、地域振興等を図るために必要な費用に充てるものとする。
2 前項の規定により必要な費用に充て、なお、剰余金があるときは、当該剰余金は、基金に積み立てるものとする。
- (繰替運用)
- 第5条 管理者は、財政上必要があると認めるときは、確実な繰戻しの方法及び期間を定めて基金に属する現金を歳計現金に繰り替えて運用することができる。
- (処分) 第6条 管理者は、基金の設置目的を達成するため必要があると認めるときは、これを処分することができる。
- (委任) 第7条 この条例に定めるもののほか、基金の管理に関し必要な事項は、管理者が定める。
- 附 則 この条例は、平成17年4月1日から施行する。

福岡都市圏広域行政事業組合流域連携基金条例施行規則

平成17年3月22日 規則第7号

- (趣旨) 第1条 この規則は、福岡都市圏広域行政事業組合流域連携基金条例(平成16年福岡都市圏広域行政事業組合条例第3号)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。
- (対象地域等)
- 第2条 基金で実施する事業の対象地域は、福岡都市圏共通の水源地域及びその流域(有明海を含む。)とし、基金で実施する事業は、次の各号のいずれかに該当する事業とする。
(1) 水源地域及び流域との文化、スポーツ、植樹祭等の交流推進事業
(2) 水源地域の育林、造林、その他荒廃林対策等への支援を行う森林保全事業
(3) 福岡都市圏地域住民の総合学習及び生涯学習の場として、公共的な研修施設等の利用又は活用を支援する地域振興支援事業
(4) 森林の育成及び保全に関する活動等による環境保全への支援を行う環境対策支援事業
(5) 前各号に掲げるもののほか、その他支援が適当と認められる事業
- (運営委員会及び審議会)
- 第3条 基金で実施する事項に関し、事業の選定及び事業の内容、計画等を審議するため、福岡都市圏広域行政事業組合流域連携基金運営委員会(以下「運営委員会」という。)を設置する。
2 基金で実施する事項に関し、透明性及び公平性を図るため、福岡都市圏広域行政事業組合流域連携基金審議会(以下「審議会」という。)を設置する。
3 審議会は、運営委員会で審議した事項に関し審査を行う。
4 運営委員会及び審議会の組織及び運営に関し必要な事項は、別に定める。
- (規定外の事項)
- 第4条 この規則に定めるもののほか、この規則の施行に関し必要な事項は、福岡都市圏広域行政事業組合管理者が定める。
- 附 則 この規則は、平成17年4月1日から施行する。
- 附 則 この規則は、平成27年4月1日から施行する。

